

令和8年9月5日(土) 聴くオフ・ミーティング

《テーマ》 わたしたちが平和を伝えるとしたら ～みんなで考えるこれからのこと～

戦後80年が過ぎ、戦争を体験した方々のお話を直接聞ける機会は、少しずつ少なくなっています。こうした状況の中、平和の大切さをどのように伝えていけばよいのかが問われています。

平和の伝え方について、区民の皆さまからご意見やアイデアをお伺いします。

区の主な平和事業

平和学習中学生派遣事業

次世代を担う中学生が被爆地を訪れ、被爆の実相にふれるとともに、現地の中高生等との交流を通して、平和の大切さを学び、その思いを次世代へ伝える取組を行っています



平和の展示とコンサート

原爆・東京大空襲などの写真パネル等の展示会や、平和への願いを込めたロビーコンサートを実施しています



被爆者(杉並区在住)証言記録映像

杉並区在住の被爆者と平和学習中学生派遣事業で広島に派遣された区内中学生との対談、被爆体験の証言を映像に記録しています



杉並光友会 久保田朋子さん(左) 西尾睦子さん(右)

すぎなみ平和マップ

区内に残る戦争遺構や平和の象徴を紹介する「すぎなみ平和マップ」を作成しています



杉並区における平和への歩み

原水爆 禁止署名運動

昭和29(1954)年、アメリカによるビキニ環礁での水爆実験を契機に、魚が売れなくなるなどの影響が生じました。これを受け、杉並区の魚屋や婦人団体などが水爆禁止を求める署名運動を開始しました。その運動は全国へと広がり、大きな社会運動となりました。

杉並区 平和都市宣言

昭和63(1988)年、戦争のない平和な社会の実現を願い、核兵器の廃絶と恒久平和の確立を目指す「杉並区平和都市宣言」を行いました。

非核宣言自治 体協議会への 加入

平成3(1991)年、核兵器廃絶や非核三原則の実現を目指し、自治体宣言や議会決議を行った自治体で構成される「非核宣言自治体協議会」に加入しました。

平和首長会議 への加盟

平成24(2012)年、核兵器廃絶に向けた市民意識を国際的な規模で喚起し、世界の恒久平和の実現に寄与することを目的として、広島市・長崎市を中心に設立された「平和市長会議」(平成25年8月6日に「平和首長会議」へ名称変更)に加盟しました。

今回の聴くオフ・ミーティングでは

戦争の悲惨さや平和の尊さをどのように若い世代へつないでいくのか、また平和を遠い出来事ではなく、自分自身の問題として考えてもらうにはどうすればよいのか。

皆さんからの率直なご意見をお聴かせください。